

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 倉吉農業高等学校

重点項目	県外生徒募集	提出日	令和5年4月20日
------	--------	-----	-----------

1 学校目標	
<p>農業教育をはじめとして、あらゆる教育の場において豊かな感性を育て、基礎基本を大切にして知の修得に努め、自らの可能性を信じて不断の努力を惜しまない生徒の育成を図るとともに、地域社会に貢献できる人材の育成を目指す。</p> <p>1. 基礎・基本の定着と学力の向上 2. 基本的生活習慣の確立 3. 地域連携と特色ある教育活動 4. 進路意識の向上と進路保障 5. コミュニケーション能力の向上</p>	
2 重点項目に係る目標・成果	
目標	成果
<p>○各科の魅力づくりや地域・企業との連携・発信、各種資格取得を進め、農業の魅力を県内外に発信し、農業に興味を持って県外からくる生徒たちと、県内の高校生のコラボによる活力のある学校を目指す。</p> <p><数値目標></p> <p>1. 夏季休業中の中学生体験入学と秋のオープンスクール、個別学校訪問に県外生徒の参加延べ20人以上</p> <p>2. 県外からの高校入試出願者10名以上</p>	<p>○各科の特色ある学びをより生徒の主体性を重視しながら継続し、その都度情報発信に努め、新聞など紙媒体での報道は46回(昨年36回)であった。また、初めて県外募集生徒の一期生4名が卒業したが、その中の1名は林野庁長官賞「全国がんばる林業高校生表彰」を受賞し、生徒の良き手本として活躍し、本校の活力向上に貢献した。</p> <p><数値結果></p> <p>1. 中学生体験入学に94名(昨年75名)、秋季オープンスクールは24名(昨年11名)の参加があり、そのうち合わせて11名が県外からの参加であった。また県外からの個別訪問は2名であった。</p> <p>2. 県外からの出願者数は特色入試5名、一般入試3名、合計8名であった。</p>
3 実施事業	
<p>【高等学校課事業】</p> <p>・高校魅力化推進事業</p> <p>○地域みらい留学合同説明会への参加</p> <p>6月から8月にかけて毎月2日間、計6日間、オンラインによる学校紹介プレゼン、チャットによる質問への回答などを実施した。</p> <p>また、9月24日(土)に対面形式による東京会場の専用ブースにおいて生徒、保護者との個別相談会を実施した。参加人数は5組(延べ人数12名)であった。</p> <p>○メディアを活用した全国向け高校魅力発信</p> <p>7月5日(火)FM東京のラジオ番組の企画「オンライン学校訪問」で芸能関係者が本校を訪問し、県外生徒の進行で校内各所を周りながら、本校生徒にインタビューを行う形で学校紹介を実施した。その様子はYouTubeで配信中である。(アクセス数R5.4月現在2.7万回)</p> <p>【独自事業】</p> <p>・とっとり魅力発信事業</p> <p>○本県の魅力を県外生徒に知ってもらうため、7月16日(土)に県内各所(東部地区)を見学する研修</p>	

会を実施し、鳥取県の魅力発見や情報発信に寄与した。

4 総合所見（成果・評価）

令和5年度の県外からの入学生は6名（昨年4名）であり微増した。全校生徒187名のうち15名の県外生徒が在籍している。（1年生6名、2年生4名、3年生5名）

令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら可能な限りの事業を実施した。特に対面形式による首都圏での個別相談会を実施できたのは、オンラインでなく、本校の魅力を直接アピールする場になった。

すべての指標において数値目標を下回ったが、新型コロナウイルス感染症の消長にもよるが、昨年に比べるとやや向上している。今後も従来の生徒募集方法を継続しながら、より県内外の中学生、保護者に本校の学びや取組を発信する方法を模索する必要がある。特に、東京FMのラジオ番組の企画「オンライン学校訪問」がYouTubeで配信され、好評であったことでも明らかのように、SNSを活用した情報発信を強化する必要がある。

「農業を学ぶ高校」から「農業で学ぶ高校」をより鮮明に打ち出すとともに、より在校生の満足度を高め、在校生、卒業生による情報発信も重要であるとする。

※枚数任意